

米沢興讓館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

今号は、福島大学にて行われた日英サイエンスワークショップ及び、2年理数科が今後の各種イベントへ参加するための事前学習として山形大学と連携した子供向け科学実験講座へ参加した様子をご紹介します。

日英サイエンスワークショップ



日英交流で学んだこと
 (2年理数科男子)

私は中学校の頃英会話を経験していたということもあり、イギリス人高校生と会話がある程度スムーズにできるものばかり思っていました。しかし、いざ活動が始まってみると自分の発音ではなかなか彼らに言葉が伝わらず自分の英語力および英会話力の拙さを痛感しました。しかし、他県から参加している高校生に身振り手振りを交えながら話す努力をすれば伝わるとアドバイスを受け実践してみたら伝えることができ感動しました。

今回の研修では科学を通して他国の人々と触れ合い意見を交わし合うことができました。そこから学んだことは世界の共通語としての英会話の重要性はもちろんですが、科学もまた世界の共通の学問であるということです。ですから世界からは科学を学ぶときに、遠い海の向こうでも多くの学生たちが同じ学問をしていると感じていきたいです。

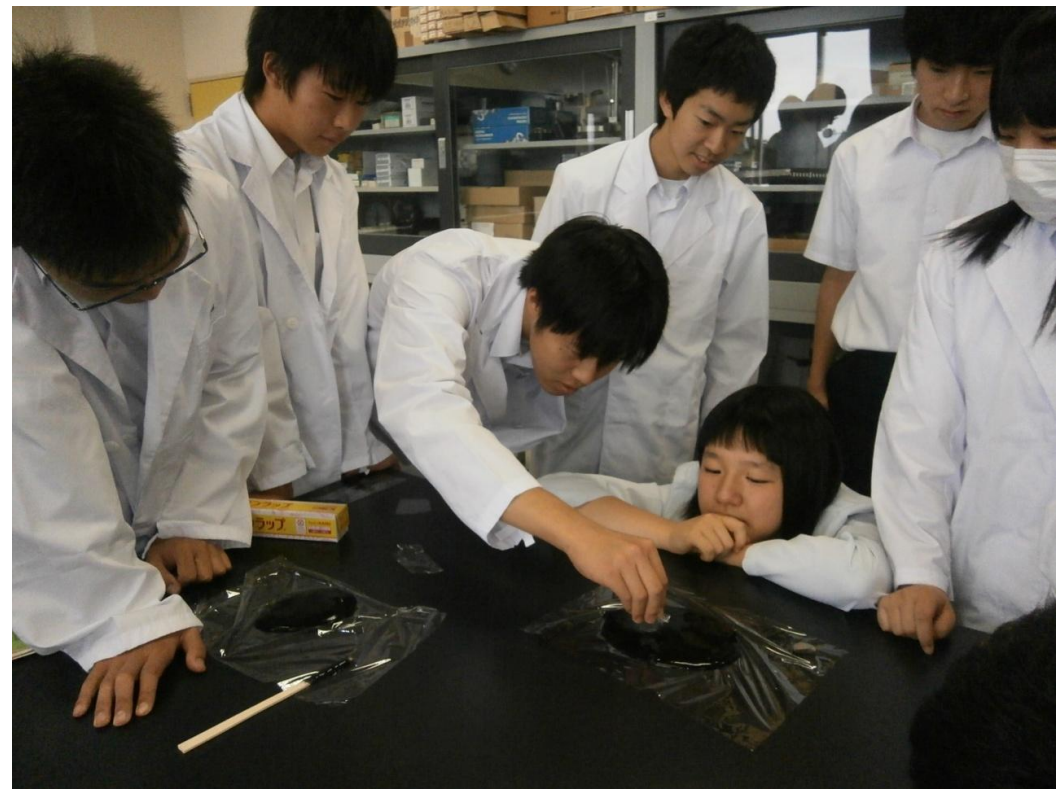
子供向け科学実験講座

子供向け科学実験講座に参加して
 (2年理数科男子)

子供向け実験講座では、子供が楽しめる実験を班ごとに、どうすれば安全に実験できるかを考えました。私がいる班では、スライムを作ることにしました。しかし、ただスライムを作るだけでは実験らしくなく、面白くないと思い、「磁石にくっつくスライム」を作ることになりました。普通のスライムに砂鉄を混ぜて作ったのですが、スライムの上に磁石を置くと、磁石が飲み込まれていき、スライムの近くに磁石を置くと、磁石に向かってスライムが近づいていくのが面白かったです。しかし、直接触れると手が黒く汚れてしまった。また、弱い磁石には反応しないなどの問題点がありました。また、砂鉄を入れる量や水の量などによって磁石へのくっつき方が変わるので、調節がとても大変でした。

生涯学習フェスティバルでは、小さなポリ袋にスライムを入れ、強い磁石と一緒に子供たちにあげるようにし、家でも遊んでもらえるようにしました。この「磁石にくっつくスライム」を作って、子供たちがとても喜んでくれたので自分たちもとても楽しかったです。

自分たちだけで実験内容や手順を考えるのは初めてで、どうやったら子供たちが安全に楽しめるかを考えるのは大変でしたが、みんなアイデアを出し合い、成功することができたので良かったです。



059

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
 〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

